

富山県立石動高等学校 シラバス

科目名	地理A	単位数	2	学科	商業科	学年	3
使用教科書	・『高等学校 地理A ー世界に目を向け、地域を学ぶ』(第一学習社) ・『新高等地図』(東京書籍)			副教材等	・『図説地理資料世界の諸地域NOW』(帝国書院) ・『教科書準拠 地理Aノート』(第一学習社)		
科目の内容と到達目標	現代世界の地理的な諸課題を地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。						
学 習 計 画 等							
学期	月	学 習 内 容	学 習 の ね ら い ・ 目 標				備考(学習活動の特記事項・副教材使用等)
1	4	第1編 現代世界の特色と諸課題の地理的考察 1章 地球儀や地図でとらえる現代世界 ①球面で世界を考えよう ②世界地図の特徴を知ろう ③世界観の広がりと地図 ④国家の領域と領土問題 ⑤国家をこえた結びつき ⑥交通機関の発達と縮小する地球世界 ⑦情報・通信で一体化する世界 ⑧人・「もの」・資本で結びつく世界 2章 世界の人々の生活を取りまく地球的環境 ①さまざまな環境のなかで暮らす人々 ②世界的視野から見た地形 ③さまざまな地形と生活 ④世界的視野から見た気候 ⑤世界の気候と生活 ⑥世界の民族のさまざまな生活・文化 ⑦生活・文化を支える産業の地域性 3章 世界の諸地域の生活・文化と環境 ①東アジアの暮らしを学ぶ	・グローバル化が急速に進んでいる現在では、平面上で認識していた世界を、地球という球面で考えていかなければならないことを、地図を使った作業をとおして学習する。 ・国家とは何かを考える。交通・通信の発達によって、生活、社会、産業などの関係がどのように変わってきたかを理解する。人・「もの」・資本の移動により、国際貿易、国家間の結合などが活発化・複雑化していることを理解する。 ・人々の生活様式の差異を、地理的環境とのかかわりから理解する。 ・さまざまな地形上で営まれている人々の生活とのかかわりについて学習し、世界の気候帯ごとに、どのような特徴があり、どのような生活が営まれているのかを学習する。世界の人々がもつ民族性や言語、宗教を教科書に掲載されている写真・地図を適切に使用して理解し、現在発生している民族問題の本質を考察する。 ・世界の農業・鉱工業について、発達過程を地理的環境との関連で理解する。 ・広い視野から異文化を理解・尊重する態度を養う。 ・中国の自然と農業を踏まえ第二次世界大戦後営まれてきた人々の生活・文化が、近年の経済発展でどのように変化してきたのかを理解し、中国と日本の相互依存関係についてまとめる。韓国について、第二次世界大戦後の朝鮮半島の歩みや自然環境、激変した韓国経済と社会や生活・文化に注目し、大衆レベルでの日韓交流と将来の日韓関係について考察する。				・『図説地理資料世界の諸地域NOW』(帝国書院) ・『教科書準拠 地理Aノート』(第一学習社) (各対応ページ)
	5						
	6						
	7						
2	9	②東南アジアの暮らしを学ぶ ③南アジアの暮らしを学ぶ ④北アフリカ・西アジアの・中央アジアの暮らしを学ぶ ⑤中南アフリカの暮らしを学ぶ ⑥ヨーロッパの暮らしを学ぶ ⑦ロシアと周辺諸国の暮らしを学ぶ ⑧北アメリカの暮らしを学ぶ ⑨中央・南アメリカの暮らしを学ぶ ⑩オセアニアの暮らしを学ぶ 4章 さまざまな地球課題 ①地域の違いとつながりに注目する ②人口問題 ③食料問題 ④都市・居住問題 ⑤資源・エネルギー問題 ⑥地球環境問題 ⑦地球課題への取り組みと国際協力	・東南アジアという地域に注目し、農業などに大きく影響する自然環境や、現在の民族・宗教分布とその背景を知識として身につけ、伝統と高い経済成長による変化について理解を深める。 ・インドを中心とした南アジアという地域に注目し、そこに暮らす人々の民族・宗教分布の背景を学び、特にインドの宗教と密接に関連した生活と変化について、理解を深める。 ・ネグロイド系の人々が多く暮らす中南アフリカに注目し、現在の国家や産業に植民地支配の傷跡が残っていることを主な国の具体例などから学び、その課題に向けてとられている対策を理解する。 ・ヨーロッパの中の自然環境の違いやたどってきた歴史の違い、すなわち地域性を学び、一体化の進むヨーロッパ社会の現状を、EUの結びつきの過程などから理解する。 ・ロシアとその周辺諸国について、ソ連時代からCISにいたるプロセスや解体後のロシア人の生活・文化と産業などの変化を学習する。 ・移民の国アメリカ・カナダに注目し、アメリカの移民社会と現在の多文化社会の特徴が、産業・大衆文化の形成にどのような影響を与えてきたかを理解するとともに、アグリビジネスやICT産業に代表されるアメリカの先進性について、理解を深める。 ・先住民や移民、混血など多様な人種・民族からなる中央・南アメリカの社会について、混血の国ブラジル、先住民の国ペルー、白人国家アルゼンチンを具体例に、その地域の課題も含めて理解する。 ・太平洋圏としてのオセアニアについて、その位置関係、自然環境、民族移動の歴史を学び、多文化社会のオーストラリア・ニュージーランドを中心に、結びつきを強めているオセアニア地域について考察する。 ・現在、直面している地球課題にはどのようなものがあるかに注目し、それらは相互に関連し、地域によって現れ方が異なることを理解する。現在、直面している地球課題にはどのようなものがあるかに注目し、それらは相互に関連し、地域によって現れ方が異なることを理解する。 ・国際社会の中で日本が果たすべき役割を認識し、国際協力について、グローバルに考える視点と身近な問題として考える視点を身につける。				・『図説地理資料世界の諸地域NOW』(帝国書院) ・『教科書準拠 地理Aノート』(第一学習社) (各対応ページ)
	10						
	11						
	12						
3	1	第2編 生活圏の諸課題の地理的考察 1章 日常生活と結びついた地図 ①地図をもって生活しよう ②身近な地図を読みこなそう ③地図表現について考えよう ④地形図を活用しよう 2章 自然環境と防災 ①日本の自然と生活 ②自然災害に備えた暮らし 3章 生活圏の地理的な諸課題と地域調査 ①地域調査の方法 ②水の恵みのまち「川北町」を考える	・観光マップや所要時間マップ、バス路線図や古地図など、教科書に掲載されている地図に関心をもって参照し、また身近にあるさまざまな地図を収集して、地図を読むことの楽しさを理解する。地理の言語としての地図、作成者の意図により取捨選択されている地図について、現在はGISや帰宅支援マップ、3次元地図、触地図などさまざまな種類の地図が発行されていることから、目的に応じた地図選択の重要性を理解する。 ・地形図の特徴について理解するとともに、地形図を読む際の決まりごとを知識として身につけ、地形図を使って断面図を描き、また新旧地形図から地域の変化を読み取ることを学習する。 ・教科書に掲載されている写真や地図・図版を適切に参照し、自然災害が多発する日本列島に、豊かな文化が築かれた背景を考察する。 ・生活に影響を与えている気候や地形の特徴について理解する。 ・自然災害の多い日本列島で、人々の生活に大きな影響を与える火山災害・水害・地震について、現象やこれまで受けてきた被害を理解するとともに、先人の知恵が詰まった、災害に備え、災害とともに暮らす生活について関心をもって考察する。 ・自然災害に備えるためにはハザードマップや緊急地震速報の有用性を認識するとともに、災害に強い地形や環境について理解し、災害に見舞われた際になるべく減災できるよう、地域防災力を高める。 ・地域調査について、積極的な調査を実施できるよう、地域調査の必要性を理解し、地域調査の基本を身につける。 ・地域調査を通して、河川は災害だけでなく豊かな生活にも恵みを与えていることに気づき、古くから人々は水の恵みを得るための工夫をこらし、災害をいなしながら生活してきたことを理解する。				・『図説地理資料世界の諸地域NOW』(帝国書院) ・『教科書準拠 地理Aノート』(第一学習社) (各対応ページ)
	2						
	3						
提出物・課題等 ・『教科書準拠 地理Aノート』は、考査の範囲となるので、各考査終了後に提出 ・ノートは適宜提出							
評価方法 ・各学期の考査評価・課題への取り組み状況・授業態度などの総合評価							